

建設技術センター情報

CONTENTS

公益法人制度改革について

長期研修計画見直しについて

平成24年度 研修計画

編集後記

この情報誌は土木技術に関する様々な情報を、山口県及び市町の土木技術職員の皆様方に提供するものです。



●一般国道434号 須川第2トンネル（仮称）

公益法人制度改革について

平成7年4月1日に設立された「財団法人 山口県建設技術センター」ですが、国・地方が進めている公益法人制度改革に伴い、平成24年4月1日から法人名称を「一般財団法人 山口県建設技術センター」として発足する予定であることをお知らせします。

現在センターで行っている業務等に変更はありませんので、引き続き、「建設技術職員の資質の向上」や「県及び市町が施行する建設事業の円滑で効率的な執行の支援」という当センターの設立目的に沿って、皆様のお役に立てるよう頑張っております。

長期研修計画見直しについて

山口県建設技術センターでは、平成7年のセンター設立以来、県及び市町の土木技術職員を対象とした技術研修を行っています。設立時の平成7年度は年7回の研修でしたが、研修科目・研修内容の充実に向けてきた結果、現在では毎年20回を超える研修を開催しています。これらの研修は、全て、長期研修計画に基づいて計画的に実施されています。これまでに平成10～14年度長期研修計画、平成15～20年度長期研修計画と実施してきており、現在の長期研修計画は平成20年度に策定された平成21～26年度の6年計画となっています。今年度で長期計画6年の前半3年が終了したことから、これまで

の研修で皆様からいただいたアンケート結果等をもとに後半3年について中間見直しを行いました。その結果を、3頁に「平成24～26年度長期研修計画」として掲載しておりますのでご覧ください。

公共事業費の減少、構造物の老朽化と維持管理問題、低価格入札や“くじ引き”による落札業者決定の頻発等、土木事業を取り巻く環境が大きく変化する中、時代の要請を踏まえた研修としてまいりますので、平成24年度も積極的に建設技術センターの研修に参加いただきますようお願いします。

山口県建設技術センターの研修計画

長期研修計画は、「技術力」、「実務力」、「現場力」の3つ基本方針により立案されています。

技術力・・・時代の要請や新しい行政需要に対応した技術力の向上

実務力・・・実務に直結する研修の充実

現場力・・・現場に関連する研修の充実

長期研修計画の主な変更点

長期研修計画の主な変更点は以下のとおりです。

1 「情報通信技術研修」と「CAD研修」の統合

両研修ともCALS/ECに関する研修です。「情報通信技術研修」はCADだけに限らず広くCALS/EC全般（電子納品、CS-GV等）について行う研修、「CAD研修」はCALS/ECの中でCADに特化した研修として行ってきましたが、アンケートの結果、特にCADに対する要請が高いことから、CADを中心に据えた「CAD研修」として統合することとします。もちろん、CALS/ECの概要に関する研修は「CAD研修」の中に残します。

2 「積算技術研修」の新設

平成23年度に試行として実施した「積算技術研修」ですが、「違算のない正しい積算」に対する社会からの要請、土木技術職員の高い関心があることから、新たに長期研修計画に追加し、毎年実施する研修とすることとします。

3 「現場研修」の回数減

国体関連の大規模事業の完了や公共事業費の減少を受け、規模の大きな工事現場が減少していることから、これまで年2回実施していた「現場研修」を年1回に変更することとします。山口県建設技術協会の「現場研修」が毎年冬期に実施されていることから、当センターの「現場研修」は時期的に重ならない夏～秋の実施を予定しています。



新任者（後期）研修



災害復旧基礎研修



検査技術研修

平成24-26年度 長期研修計画

研修区分	研修課程名	研修内容	研修日数 (注)	H24	H25	H26
職務基礎研修 (4課程)	新任者(前期)	・土木技術職員の心構え ・設計書の構成と歩掛表の見方 ・設計書の作成演習 ・工事現場実習	4	○	○	○
	新任者(後期)	・設計書の構成と歩掛表の見方(業務委託) ・設計書の作成演習(業務委託) ・工事検査について ・地質調査について	3	○	○	○
	災害復旧基礎	・災害復旧事務の流れ ・災害復旧事業の計画と演習 ・災害現場測量実習 ・査定設計書作成演習 ・査定の現地演習	3	○	○	○
	積算システム	・土木積算システム演習 ・設計書の作成演習	1	○	○	○
実務能力研修 (12課程)	設計積算	・積算概論 ・設計積算の留意点 ・土木積算演習 ・小構造物設計演習	2	○		○
	道路実務	・道路事業の流れ ・道路法 ・道路技術基準 ・道路設計演習 ・道路土工指針(排水工) ・道路排水工演習	2	○		○
	道路維持管理実務	・道路維持管理一般 ・重要構造物の維持管理 ・道路の占用 ・道路管理瑕疵	2		○	
	河川実務	・河川事業一般 ・河川管理施設等構造令の解説 ・河川設計演習 ・河川管理一般(河川法、許認可等) ・河川総合開発事業一般 ・ダム管理	2		○	
	都市計画実務	・都市計画の概要 ・景観行政 ・都市計画法関連 ・事例紹介 ・都市計画事業(街路、公園、市街地開発)	2		○	
	下水道実務	・下水道事業の概要 ・下水道の基本計画 ・下水道管渠の設計 ・下水道の維持管理 ・各種管渠工法	②		○	
	砂防実務	・砂防事業の概要 ・急傾斜地崩壊対策事業の概要 ・地すべり事業の概要 ・関係諸法規と事務手続き	2	○		
	港湾実務	・港湾海岸事業の概要 ・設計積算体系の解説 ・事業執行の留意点 ・港湾関係基本法令	2	○		○
	施工管理実務(前期)	・施工計画 ・施工管理 ・品質管理 ・工事検査 ・工事安全対策	2	○	○	○
	施工管理実務(後期)	・工事監督の留意事項 ・現場管理の実際 ・現場施工事例	2	○	○	○
	予算・法令実務	・土木予算編成のしくみ ・契約、決算事務の流れ ・土木関係法令の基礎 ・建設業法 ・廃棄物処理法	②		○	
	測量・土質地質調査	・土質、地質調査の計画、調査方法 ・測量調査の方法、測量事務の概要	②	○		○
専門能力研修 (20課程)	道路計画	・道路計画概論 ・道路計画設計演習	2	○		
	擁壁設計	・擁壁工設計概論 ・擁壁工設計の基本 ・擁壁工設計演習	2		○	
	道路施設設計	・舗装の設計、演習 ・歩道の構造とバリアフリー ・自転車通行環境整備 ・交通事故対策の立案と設計 ・道路附属施設設計演習	②	○		○
	橋梁設計	・橋梁設計マニュアル解説 ・道路橋示方書の解説 ・橋梁設計演習	2			○
	斜面対策	・法面対策工の選定 ・安定解析の種類と選択 ・アンカーの設計施工 ・法面工の設計 ・緑化工法	2	○		○
	仮設工設計	・仮設工設計概論 ・仮設工の設計及び演習 ・土留工、仮締切工の設計	2		○	
	建設環境	・環境アセスメントの基本 ・生態系の保全 ・建設リサイクル ・環境に配慮した施工事例 ・景観	2	○		○
	杭基礎設計	・杭基礎の種類 ・杭基礎の選定 ・杭の安定計算 ・耐震設計	2		○	
	交差点設計	・交差点設計マニュアル解説 ・交差点設計演習	2		○	
	橋梁・コンクリート維持管理	・コンクリート構造物の維持管理 ・コンクリート構造物の劣化原因及び調査法 ・コンクリート補修工法 ・橋梁維持管理	②	○		○
	地盤改良工法	・地盤改良工法の概要 ・地盤改良設計 ・軟弱地盤の概要 ・設計演習	2		○	
	CAD	・CADの利用 ・情報通信技術の活用 ・建設CAL/ECの演習	2	○	○	○
	現場研修	・現場施工法 ・現場管理の実際 ・現場施工事例 ・事例研究	1	○	○	○
	建設マネジメント	・アセットマネジメントについて ・社会資本整備の現状と課題 ・住民参加と合意形成 ・危機管理の理論と実践 ・建設行政の動向	1	○		○
	検査技術	・公共事業をとりまく最近の動向 ・監督制度と検査制度 ・工事成績評定制 ・会計検査の動向 ・模擬工事検査	②		○	
	新技術・新工法	・新技術新工法の紹介 ・建設分野の最新動向 ・現場施工事例	①		○	
	工事監督	・工事監督の留意事項 ・工事検査 ・施工計画 ・施工管理 ・品質管理 ・現場施工事例	2		○	
	上級技術者	・土木倫理規定 ・建設業法等の土木関係法令 ・工事安全対策 ・工事監督の留意事項 ・建設分野の最新情報 ・危機管理	②	○		○
	現場技術(現場紹介)	・現場施工事例 ・新技術や新工法の紹介 ・プレゼンテーション演習	①		○	
	積算技術	・設計書作成上の留意点 ・設計書作成ミスの想定事例	①	○	○	○

(注)・・・研修日数が○数字のものは、一部受講可の研修です。

平成24年度 研修計画

平成24年度の研修計画と日程です。研修内容・日程は、実施に当たって若干変更となる場合があります。研修実施日の1ヶ月～1ヶ月半前には、山口県建設技術センターから案内文書が届きますので、詳細はそちらをご確認下さい。

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者	日程	研修日数
職務基礎研修	新任者（前期）	・土木技術職員の心構え ・設計書の構成と歩掛表の見方 ・設計書の作成演習 ・工事現場実習	新規採用 土木職員等	5/15～18	4
	新任者（後期）	・設計書の構成と歩掛表の見方（業務委託） ・設計書の作成演習（業務委託） ・工事検査について ・地質調査について		11/14～16	3
	災害復旧基礎	・災害復旧事務の流れ ・災害復旧事業の計画と演習 ・災害現場測量実習 ・査定設計書作成演習 ・査定の現地演習		5/29～31	3
	積算システム	・土木積算システム演習 ・設計書の作成演習		6/27	1
実務能力研修	設計積算	・積算概論 ・設計積算の留意点 ・土木積算演習 ・小構造物設計演習	経験5年程度	8/29～30	2
	道路実務	・道路事業の流れ ・道路法 ・道路技術基準 ・道路設計演習 ・道路土工指針（排水工） ・道路排水工演習		8/1～2	2
	砂防実務	・砂防事業の概要 ・急傾斜地崩壊対策事業の概要 ・地すべり事業の概要 ・関係諸法規と事務手続き		7/26～27	2
	港湾実務	・港湾海岸事業の概要 ・設計積算体系の解説 ・事業執行の留意点 ・港湾関係基本法令		8/23～24	2
	施工管理実務（前期）	・施工計画 ・施工管理 ・品質管理 ・工事検査 ・工事安全対策		7/18～19	2
	施工管理実務（後期）	・工事監督の留意事項 ・現場管理の実際 ・現場施工事例		① 9/26 ② 10/3	2
	測量・土質地質調査	・土質、地質調査の計画、調査方法 ・測量調査の方法、測量事務の概要		10/16～17	②
専門能力研修	道路計画	・道路計画概論 ・道路計画設計演習	経験10年程度	10/30～31	2
	道路施設設計	・舗装の設計、演習 ・歩道の構造とバリアフリー ・自転車通行環境整備 ・交通事故対策の立案と設計 ・道路附属施設的设计演習		9/5～6	②
	斜面対策	・法面対策工の選定 ・安定解析の種類と選択 ・アンカーの設計施工 ・法面工の設計 ・緑化工法		9/19～20	2
	建設環境	・環境アセスメントの基本 ・生態系の保全 ・建設リサイクル ・環境に配慮した施工事例 ・景観		12/5～6	2
	橋梁・コンクリート維持管理	・コンクリート構造物の維持管理 ・コンクリート構造物の劣化原因及び調査法 ・コンクリート補修工法 ・橋梁維持管理		7/4～5	②
	CAD	・CADの利用 ・情報通信技術の活用 ・建設CALS/ECの演習		① 5/9 ② 6/20	2
	現場研修	・現場施工法 ・現場管理の実際 ・現場施工事例 ・事例研究		8/8	1
	建設マネジメント	・アセットマネジメントについて ・社会資本整備の現状と課題 ・住民参加と合意形成 ・危機管理の理論と実践 ・建設行政の動向		1/23	1
	上級技術者	・土木倫理規定 ・建設業法等の土木関係法令 ・工事安全対策 ・工事監督の留意事項 ・建設分野の最新情報 ・危機管理		工事監督指導を 行う職員等	10/24～25
	積算技術	・設計書作成上の留意点 ・設計書作成ミスの想定事例	土木職員等		6/7

(注) 研修日数が○数字のものは、一部受講も可とする。

編集 後記

間もなく、東日本大震災から1年が経ちます。当日は東京に出張して
いて地震に遭遇しました。全ての公共交通機関が麻痺し、道路は帰宅
難民となった人達と渋滞でまったく動けなくなった車で溢れており、
私も帰宅難民となって宿まで5時間近く歩きました。どういふ手法を
とるかは別にして、緊急時には都心から一般車両を排除し、緊急車両
が道路を通れるようにする必要性を強く感じたのを思い出します。

【メールアドレス】 info@yama-ctc.or.jp
【ホームページアドレス】 http://www.yama-ctc.or.jp

〒753-0073 山口市春日町8-3春日山庁舎
(財)山口県建設技術センター 情報誌編集委員会 宛
[TEL] 083-920-1233 [FAX] 083-920-1288

○
としあな

○
としあな